

令和4年第1回三朝町教育委員会定例会 議事録

開 会 日	令和4年1月25日（火曜日）
開 催 場 所	三朝町役場2階 第2会議室
出 席 者	西田寛司教育長 塩谷俊樹委員、石田仁樹委員、加藤るみこ委員、村岡麻梨委員
欠 席 者	な し
説明等の出席者	山中教育総務課長、山本社会教育課長、朝倉図書館長、小谷指導主事、福田教育総務係長
報 告 事 項	(1) 教育総務課事業について (2) 社会教育課事業について (3) 日本遺産再審査の結果について (4) 図書館事業について
議 事	議案第1号 令和3年度教育関係費補正予算（令和4年1月）について
協 議 事 項	な し
そ の 他	(1) 三朝町教育委員会の新型コロナウイルス感染症対応について (2) 三朝町の小中連携について【別冊】

会 議 の 内 容

- 1 開 会
教育長
午後2時00分
令和4年第1回定例会を開会します。
- 2 前回議事録
の承認
前回の議事録につきましては、加藤委員と塩谷委員に承認をいただいております。
- 3 議事録署名委員
の指名
本日の議事録署名委員は、塩谷委員と石田委員を指名いたします。
- 4 報告事項
教育長
特にこれということは1月はありません。皆さんにお話することとしてはコロナ対策ですね。オミクロンで中部も相当入ってまして、濃厚接触者と言われたら保健所はPCR検査をされます。そうすると家族の方がPCR検査に回ったら子どもさんは接触者になります。接触者だったら一旦は学校を休んでいただいて、濃厚接触者の家族の方が陰性であるという確認ができれば登校してくださいということで、今学校にお願いしています。
それからもう一方で、学校の点検のことが。今県立高校では点検に入ってもらっています。三朝町の場合どうしているかといいますと、9月30日、去年の話なんですけど、県の指導で2つの学校を点検いただきました。「学校感染防止対策チーム」というのがあって、そこで感染対策のチェックを1

回していただいております。そしてこの先週ぐらいから中部にも広がったということで、月曜日の1月24日、同様の点検項目で学校の点検を教育委員会主導でさせてもらっております。

部活動とかスポーツ少年団とかいう話なんですけど、もう特別警報になっておりますので、他所との交流練習みたいなことはしないと。中学校が週2日の練習に、それだけにすると。スポ少もそれに準じて活動してくださいと。このことについては、昨日市町村長との会議がありました。それに教育長も同席しなさいということで同席しました。その中で、全県で当面2週間から3週間、ちょっと厳しく感染対策を取り組もうということで全県で一致されたところなんです。それに従って三朝町の学校でも少し厳しめに警戒していきたいと思います。2～3週間でおそらくピークが過ぎて鎮まってくるんじゃないかという希望的観測だと思いますけど、そのようなところでコロナ対策を行っているところです。

事務局

(1) 教育総務課事業について

(資料により報告)

教育長

ここまでで何かありますでしょうか、ご意見は。

各教育委員

(意見等なし)

事務局

(2) 社会教育課事業について

(資料により報告)

1月15日、青空体験塾で俵原地内で雪遊びを実施いたしました。これには中学生ボランティア5人の参加をいただいて、中学生、小学生、それから里山さんというところでの体験活動を実施することができました。

同じ日に、スポーツ推進委員の研究大会が予定されておりました。こちらは中止になったのですが、ニュースポーツの紹介を各町でしようというところで、モルックというスポーツの紹介を町スポーツ推進委員さんがされています。NCNとTCCの連携で、どちらでも流れるよう名予定で計画をされているようなのですが、お知らせをしていきたいと思っています。

(3) 日本遺産再審査の結果について

(資料により報告)

新しい計画は、文化庁のホームページ「日本遺産ポータルサイト」の三朝町のところを見ていただくと、「概要」というボタンがあり、そこから計画の内容を見ていただくことができます。

事務局

(4) 図書館事業について

(資料により報告)

本の福袋と題して、当初は50袋準備していたのですが、最終的には90袋出すこととなりました。

ポップコンテストについては、鳥取県全体で中学生から1,200件ほどの応募があったようですけれども、その内、三朝中から3名が選ばれたということになります。

教育長

社会教育課、図書館について、何かご質問がありましたら。

教育委員

日本遺産の再審査の結果ということで、結果は継続認定ということでこれは非常によかったなとほっとするところではあるんですけども、今後 100 件を超える場合にはこの 4 つと候補地の 3 つで競い合って、この中で日本遺産として残るかどうかを争われるよということですよ。この候補地を見ると本当に全国的に有名な所ばかりですよ。ということは、今回は何とか残ったけども、次の時にも競わなければいけない状況になった場合はですね、非常に厳しいじゃないかな。ですから本当に今ほっとするのも当然ほっとするんですけども、全町挙げてやっていかないと、これはなかなか日本遺産を継続するのは厳しいんじゃないかなって改めて思いますので、教育委員会だけじゃなくてですね、町、町民もそうだと思うんですけど全町挙げていかないとなかなか厳しいなというのを、ほっとすると同時にそういうふうに思いますので、ぜひ次には多分大丈夫だと胸張って言えるような施策を作っていないといけないなというふうに改めて思いました。

教育長

激励のご意見だったと思います。

事務局

ありがとうございます。

教育委員

それに合わせてですけど、行ってみたいと思うような情報発信というのは、今、どのようなことを考えておられますか。

事務局

一つひとつやっていく催しというのは当然情報提供をホームページ等でもしていきますし、一つひとつのことをお知らせしてというふうにはしていかないといけないということは。

教育委員

これからじゃあ、いろんなことを計画されていくということですか？

事務局

それぞれの取り組み、まず日本遺産を生かす取り組みを計画をしていかないといけない、それをしっかりと PR していくということになると思います。

教育委員

PRの方法はまだこれからということですか？というのは、実は「鎌倉殿の 13 人」を見た後に、最後に旧所名跡とかいろんな所の紹介があるんですけど、この前もこの所にとっても有名な建物が建っていたと、今更地になってるけど整備されている。そこの所に看板が立っていて、QRコードをかざすと昔の様子がぱっとバーチャルで出てくるというのがあって、それを見ていた時にすごい短絡的に考えたんですけど、三徳山の投入堂までのコースをバーチャルで体験できるとか、QRコードをかざせばできるとかというのを、そういうようなことで行ってみたいというような、全部を出しちゃうと行く人がなくなっちゃうので、ポイントポイントでこんな所があってという所をバーチャル体験できたりみたいところもするのなんかはどうなんだろうかなと思ったので、そういうのなんかは全然PRの対象外になっちゃうのかなというところもちょっとわからなかったんで、これ三徳山に応用したらすごく面白いなって、そういう観点から見んですけど。

教育長

私から補足すると、さっきこれからですみたいなことを言ったんですけど、そうじゃなくて計画書の中にもう書いてあるんです。VRを作るとかですね、そういうようなことを。その具体化が多分これからですという意味。実はおっしゃることは項目として挙がってたんですけど。

支援があつてうまく学校に登校できていたお子さんが、中学校になってなかなか出席ができなくなっているとかというケースがございました。

教育委員

中学校に行って、いろいろ生活してみたら不適應を起こしてしまったということですか？

事務局

そうですね。小学校の場合、統合加配といいまして、学校統合に伴っての加配の先生がおられます。その方は完全に担任ではなく、教育相談という立場でおられるんですが、その先生がずっと付きっきりで見ておられたんですが、中学校に入った時に同じ立場の先生がいるかといったら、教科担任制ですので、なかなか担任さんも教室の入れ替わりがありますし、そうするとやはり不安が大きい子にとってはそういった環境がなかなかうまく馴染めないということで、事前に移行支援会議はしていたんですが、十分な支援が早急にできなかったというケースがございました。

教育委員

わかりました。何かちょっとここら辺が、ん？と文面を読んだだけではわからなかったの。この辺をもうちょっと丁寧に考えられた方がいいのかなと。斜め読みですけど。

教育長

ありがとうございました。紙面は余裕がありますから、その辺をちょっと丁寧に表記するよう検討したいと思います。

他はいかがでしょうか。

教育委員

あと、11 ページ。「豊かな心の～」というところなんです。基本方向の1 番目です。「子どもたちが自分の良さを知るとともに、他人の痛みや悲しみを理解できるやさしさ」とありますけど、理解することがやさしさではなくて、理解して互いが寄り添う、お互いがわかりあったりするいうところまででないと、理解しただけではやさしさということにはつながらないと思うので、そこをもう少し詳しくしていただいたらなって思いますし、私が特別支援教育に携わっていていつも思っていたことなんですけど、今でも思ってるんですが、定型発達ということを非常によく言われている言葉なんですけど、そこで線引きみたいなのが世の中ですごい横行してるなという気がします。で、結論から言っちゃうと、定型発達の子とか普通の人というのは私はこの世の中にいないと思っていて、前にも言いましたけど、いろんな脳の癖というのがあって、いろいろな傾向が強かったり弱かったりするということで、特に教育の場合は合理的配慮が必要ということから診断名をつけたりするんですけど、だからそこら辺のところの理解といいますか、普通の子というのはいないんだというところで、また考えていただくと互いに寄り添うとか歩み寄るとか、その体験は全くできないんですけど、それを理解しようと寄り添うこととか、お互いがそうできるという、すごい美談かもしれませんけど、やっぱりそういう方向性って目指してほしいな三朝町だけとは思ったりして、ちょっとそういう意見を入れさせてもらえたら。ちょっとここの文言が引っかかりました。すみません。

教育長

ありがとうございました。今おっしゃったことは、今の日本の教育を進めようという、個別最適化領域という正に全国的に取り組まないといけない視

教育委員

点でして。そこの表現がちょっと。ここは検討させていただくということで。

みささっ子らしさというか、そこら辺は特に、健診とかでも他町にないことをやっておられて、特別支援の子どもたちの洗い出しとか寄り添ったりとか、各園の先生方もそこのところを注意していい具合に小学校につないでいっておられるのに、そこら辺の取り組みをもう少し生かした表現があったらいいかな。本当に他町にはない取り組みだと思うので、その良さを生かした文言の方がもっといいのかなという気がしたので。

教育長

良い表現があったらまた、事務局に届けてやってください。よろしくお願いします。

教育委員

またもし、思い浮かべば。

事務局

他にもご意見とか、ここはというところがあると思いますので、これはあくまでもたたき台でございます。これから校長先生の方にも、学校の方にも見ていただきますし、最後の方に保育園との連携のことも出てますので、町民課の方にも見ていただきますし、皆様のご意見をどんどんいただけたらと思います。よろしくお願いします。

教育長

それで、これ、最終的にはいつ完成予定？目標は。年度内ですか？

事務局

希望はそうですね。

教育長

ということで、各方面にこれを示してご意見をいただく。まあ遅れても仕方ないですね。年度内で完成を目指して努力しますから。何かご意見がありましたらまた、事務局にお届けいただけたらと思います。

他に今、お気付きの点があったらお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各教育委員

(意見等なし)

教育長

ちょっと用語のブレは確かにあって、私も指導主事に話をしたんですけども、あくまで案の段階ですので、もうしばらく練っていききたいと思います。

8 閉 会

教育長

次回は2月25日金曜日、午後1時30分集合、定例会は午後2時からということでよろしくお願いします。

以上をもちまして、令和4年第1回三朝町教育委員会定例会を閉会します。

午後2時40分